

作成年月日	平成26年4月7日
作成部局	農政環境部環境管理局
課室名	温暖化対策課

湯村温泉における温泉バイナリー発電施設の運転開始

本県では、「2020年度末までに再生可能エネルギーを新たに100万kW導入する」ことを目指し、多様な地域特性を活かした取組を進めている。

この度、但馬の地域特性である温泉熱を活用したバイナリー発電施設が新温泉町湯村温泉に完成し、運転を開始することとなった。同施設は、環境省の再生可能エネルギー等導入推進基金（グリーンニューディール基金）を活用し、平成24年度に県が基本設計を行い、平成25年度に新温泉町が詳細設計、施工を行い導入したもの。

また、設備導入や維持管理で得られた知見は、工場排熱等を用いたバイナリー発電導入検討に活かしていく。

1 施設概要

(1)特徴

温暖化防止につながる再生可能エネルギー導入のモデルとして、防災拠点である福祉避難所へ温泉バイナリー発電を整備するのは全国初の取組み
自立型の温泉バイナリー発電設備を導入することで、災害等による停電時も福祉避難所である薬師湯において、最低限必要な照明、携帯充電、入浴サービス等を提供することが可能
山陰海岸ジオパークと連携した住民、観光客等への環境学習効果に期待

(2)発電施設設置場所

湯村温泉観光交流センター 薬師湯（日帰り温泉施設、町指定の福祉避難所）
新温泉町湯 1604

(3)設置者

新温泉町

(4)機器概要

40kW（株）IHI製20kW×2台、施工：（株）洗陽電機）

(5)利用可能容量（想定）

11～20kW（湯量等により変動）

(6)年間発電量（想定）

約9万kWh（約25世帯分の年間電気使用量に相当）

(7)事業費

82,740千円（うち、グリーンニューディール基金80,000千円）



2 施設竣工式（主催：新温泉町）

(1)日時

平成26年4月10日（木）10:00～

(2)場所

湯村温泉観光交流センター 薬師湯

バイナリー発電とは
熱水や高温の蒸気をもつエネルギーを用いて沸点の低い物質（代替フロンなど）を気化させて発電機を回す発電方式のこと。
（右図参照）

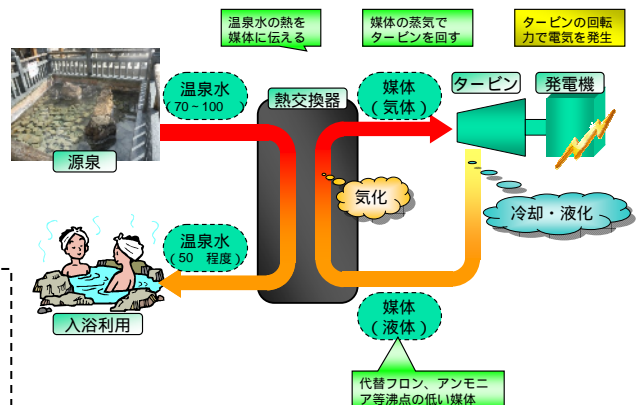


図 バイナリー発電の仕組み

（問合せ先）

農政環境部環境管理局温暖化対策課計画班 TEL078-362-3273